

風水害から身を守る

対策の基本はマップの確認と早めの避難！

台風や豪雨は予測できるので、早めに避難することができます。風水害から身を守るために、日頃から

- 1 ハザードマップの確認
- 2 避難方法の確認
- 3 避難行動の確認 をしましょう！

ハザードマップの確認

自宅の浸水深などを記入しましょう！

ハザードマップ	被害想定	浸水の深さ	浸水継続時間	家屋倒壊等氾濫想定区域(該当の場合は○)	
1	多摩川の氾濫	最大	m	時間	
2	高潮の被害	最大	m	時間	
3	中小河川等の氾濫	最大	m		

ステップ 1 ハザードマップで、自宅と周辺に水害リスクが想定されているかを確認し、右の表に記入しましょう。

ステップ 2 下のフローチャートを確認し、自身の避難方法を検討しましょう。

確認 Start!!

自宅が2階建て以下で浸水想定が3m以上、もしくは家屋倒壊等氾濫想定区域に該当している

はい

いいえ

浸水想定0.5m以上

はい

自宅に2階以上等の避難できる場所がある

いいえ

いいえ

屋内待機

→自宅外へ避難する必要はありません。ただし、被害想定がなくても、周りより低い地形等の場合、気象庁や区からの情報を確認し、必要に応じて避難してください。

垂直避難

→自宅が浸水する可能性があります。2階以上に避難しましょう。

水平避難(※)

→自宅の2階以上まで浸水する可能性があります。自宅外へ避難しましょう。

わが家の避難先

学校	学校
親戚等	宅

※台風が直撃している等の水平避難がかえって危険となる場合は、垂直避難を行ってください。

ステップ 3 行動例を参考に、自身の避難行動のタイミングを検討しましょう。

行動の目安	情報発表者	各種情報等	とるべき行動
警戒レベル 1	気象庁	台風に関する情報を発表 →5日後までの台風進路や強さ等の情報を発表する。	避難先や持出品を確認! ●天気予報(テレビ・ラジオ・インターネット) ●気象庁ホームページの台風情報
警戒レベル 2		大雨・洪水注意報等を発表 →災害の恐れがある場合に発表する。	●大田区ホームページ ●ニュース・交通情報(テレビ・ラジオ・インターネット) ●テレビのデータ放送(dボタン) ●国土交通省「川の防災情報」(川の水位情報) ●東京都水防防災総合情報システム
警戒レベル 3	大田区	「避難準備・高齢者等避難開始」を発令 →高齢者等の避難に時間を要する人は、水平避難を開始する。	高齢者等は避難 ●避難に時間を要する人(高齢者、障害者、乳幼児など)とその支援者は避難を始める ●浸水が想定される場所に住んでいる人は、避難しやすい服装に着替える
警戒レベル 4		「避難勧告/避難指示(緊急)」を発令 →避難対象地域の人は避難する。水平避難が危険な場合は垂直避難や近くの安全な建物に避難する。	全員避難 ●避難対象地域の人は、水平避難を始める ●避難に時間を要する人は、避難を完了する
警戒レベル 5		「災害発生情報」を発令 →既に災害が発生している状況のため、垂直避難等の命を守る最善の行動をとる。	命を守る最善の行動 ●即座に自宅や近隣の建物で、浸水しない高さの部屋に避難する⇒垂直避難 ●土砂災害の危険がある建物は、崖や斜面と反対側にある2階以上の部屋に避難する

情報収集

大田区からの情報を入手しましょう!

◆大田区ホームページ
トップページの「緊急情報」から各種防災情報が確認できます。災害時には地域ごとに行われる支援活動などもご案内します。
URL: <https://www.city.ota.tokyo.jp/>
※Webブラウザのブックマーク(お気に入り)に大田区ホームページを追加しましょう。

◆区民安全・安心メールサービス
あらかじめ登録されたメールアドレスに、防災や気象情報、防災行政無線の放送内容を配信しています。
登録: kumin@anzen.city.ota.tokyo.jp に空メールを送信、または右の二次元コードよりアクセス

◆大田区公式Twitter(Twitter)
平常時はイベントや地域の情報など、災害発生時には緊急情報を発信します。
登録: @city_ota

◆大田区防災行政無線電話応答サービス
防災行政無線(放送塔)の放送内容が電話で確認できます。
電話: 0180-993-993
※通話料は有料です。一部のIP電話やケーブル電話などでは利用できない場合があります。

関係機関からの情報収集(風水害)

日頃から各ホームページにアクセスして、情報の見方やページ構成などを身につけておきましょう

◆気象庁ホームページ
最新の気象情報や今後の推移などのほか、洪水や土砂災害の危険度なども確認できます。
URL: <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

◆国土交通省「川の防災情報」
全国の主要河川の情報を公開しています。トップページの「川の水位情報」洪水予報の発表地域「浸水の危険性が高まっている河川」などを確認しましょう。
URL: <https://www.river.go.jp/>

◆東京都水防防災総合情報システム
呑川の水位情報や雨量グラフなどが確認できます。
マップにある▲を選択すると「水位グラフ」、▼を選択すると「雨量グラフ」、カメラマークを選択すると「河川映像」が表示されます。
URL: <http://www.kasen-subo.metro.tokyo.jp/>

◆テレビのデータ放送(dボタン)
雨の情報や警報などの発表状況、大田区が発令した避難勧告等の避難情報を文字情報として確認することができます。テレビにより放送内容は異なります。

d 河川水位情報

河川	水位観測所の状況	水位	危険度
多摩川	田園調布(上)	1.2	1
多摩川	多摩川(中)	1.1	1
多摩川	多摩川(下)	1.0	1
多摩川	多摩川(上)	0.9	1
多摩川	多摩川(下)	0.8	1
多摩川	多摩川(上)	0.7	1
多摩川	多摩川(下)	0.6	1
多摩川	多摩川(上)	0.5	1
多摩川	多摩川(下)	0.4	1
多摩川	多摩川(上)	0.3	1
多摩川	多摩川(下)	0.2	1
多摩川	多摩川(上)	0.1	1
多摩川	多摩川(下)	0.0	1

リモコンのdボタンを押すと、視聴中の放送局が提供するデータ放送画面が表示されます。

ハザードマップ 3 中小河川等の氾濫(呑川、丸子川等) (浸水の広さと深さ)

呑川、丸子川等流域で1時間に153mmの降雨があった場合

このハザードマップは、東京都が公表した「城南地区河川流域浸水予想区域(改定)(平成30年12月20日)」及び「野川、仙川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域(令和元年6月27日)」において、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される最大の浸水の深さを示したものです。

想定最大規模降雨量は、「城南地区河川流域浸水予想区域(改定)」「野川、仙川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域」共に時間最大雨量153mm・総雨量690mmです。

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域は、平成30年5月31日及び平成29年3月13日に公表された「土砂災害(特別)警戒区域の指定」において、土砂災害が発生するおそれがある区域として指定された箇所を示したものです。

土砂災害の警戒区域

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の上限 高さ5m以上
急傾斜地の下限から急傾斜地の高さの2倍(ただし50mを超える場合は50m)
レッドゾーンは、高さ・傾度・土質等から計算で決定

浸水深の想定と目安

2階の天井以上までつかる程度	5.0m以上
1階の天井から2階の天井近くまでつかる程度	3.0m~5.0m
1階の床から1階の天井までつかる程度	1.0m~3.0m
0.5m~1.0m	0.5m~1.0m
1階の床までつかる程度	0.1m~0.5m

区内の雨量や河川水位の監視ポイント

浸水被害を事前に察知するために雨量や河川の水位を確認しましょう。区では水防監視カメラを6地点に設置しており、リアルタイム画像で確認できます。

雨量計
●蒲田(区役所本庁舎)
●馬込(特別出張所)
●旗町(特別出張所)

河川水位
●多摩川(田園調布(上)水位観測所)
●多摩川(田園調布(上)水位観測所)
●雪谷(特別出張所)
●雪谷(特別出張所)
●呑川(池上水位観測所)
●羽田(東京国際空港)

リアルタイム情報は、こちらからアクセスできます。

土のう置場
家屋の浸水防止のため、区内23か所に土のう置場を設置しています(令和2年4月現在)。どなたでも利用でき、連絡等は不要です。
詳細な設置位置は、こちらから確認できます。

アンダーパス(地下道)
短時間に大量の雨が降ると、あっという間にアンダーパス(地下道)へ水が流れ込み、車両や人が動けなくなる危険があります。

水防監視カメラ
多摩川…六郷水門
呑川…石川町
●夫婦橋公園
●仲池上
●東蔵谷
●中央
●旭橋

カメラの映像は、こちらからアクセスできます。

凡例
●水害時緊急避難場所(全階使用可)
●水害時緊急避難場所(条件付き使用)
●雨量計設置箇所
●河川水位観測地点
●水防監視カメラ設置箇所
●土のう置場
●アンダーパス(地下道)
●土砂災害警戒区域
●土砂災害特別警戒区域

川崎大師 1:16,000